

第 19 回 A SEED JAPAN がけっぶちの生物多様性キャンペーン（第 38 号）

A SEED JAPAN は、1992 年の地球サミットに青年、すなわちユースの声を届けよう!という想いから始まった国際青年環境 NGO。大学生や 20 代前半の社会人が中心となり、様々なプロジェクトチームを立ち上げ、環境・社会問題に照り組んでいます。その中で、2010 年 10 月に開催される生物多様性条約第 10 回締約国会議(COP10)に向けて、提言活動やキャンペーンを展開しているのが「生物多様性の利用をフェアに!プロジェクト」と「生物多様性の損失をゼロに!プロジェクト」です。

前者では、「遺伝子資源へのアクセスと利益配分(ABS)」問題に取り組み、後者ではポスト 2010 年目標を取り扱っています。後者は全国青年環境連盟(エコ・リーグ)の「CBD-COP10 Project」と協同で「がけっぶちの生物多様性キャンペーン実行委員会」を設立し、運営を担っています。ABS、ポスト 2010 年目標はともに COP10 における主要議題となっています。

「がけっぶちの生物多様性キャンペーン」は、COP10 という重要な機会に、現在の「がけっぶち」の状態にある生物多様性の損失に歯止めをかけるために、有効かつ明確なポスト 2010 年目標が作られることを目指して、日本政府や締約国に働きかけを行っています。またその過程で、社会参加に関心を持つ「動く」ユースが少しでも増え、日本社会全体としてユースの活動がより活発化することを目指して活動しています。

《キックオフイベント》

2010 年 5 月 22 日の国際生物多様性の日に都内で巨大なパネルを使用したアクションを実施。その模様は翌日の毎日新聞にも記載され、「生物多様性の損失の要因をゼロにすべき」という主張は広く社会に発信されました。

《模擬選挙》

7 月 10 日の参議院選挙に合わせ、各党のマニフェストから生物多様性部分を抜き出し、生物多様性政策に特化した模擬選挙企画を実施。500 人以上のユースに生物多様性を考えた模擬投票をしてもらい、その結果を各政党の政策担当者に届けました。

《ポスト 2010 年目標シンポジウム》

9 月 4 日には、生物多様性問題に関する専門家や、実際にポスト 2010 年目標を策定交渉に関与されている環境省の方を招いて、シンポジウムを開催。基調講演やパネルディスカッションを通じて 2010 年目標への理解を深めるとともに、ユースからの提言を行うことで、政府代表に直接ユースの声を届けました。

■COP10 へ向けて

将来世代であるユースは、生物多様性の損失による悪影響を被る立場にありながら、重要な政策立案に関与することができていません。そんなユースの主張を少しでも議論に反映させるべく、COP10 事中の提言活動やパフォーマンスを計画準備しています。

ホームページ <http://youthbiodiversity.jimdo.com/>

